

地域社会との共存・共栄

地域住民の健康を支援することで
地域社会に貢献すること



昭和26年の病院開設以来約70年にわたり地域の皆様と共に歩んで参りました。今回の計画においては、これまで通り建物すべてを医療施設（病院）として建設致します。年間受入3,500件の救急車への対応。年間3,800件の近隣開業医からの紹介受入。そして年間60,000名の通院患者さん、年間80,000名の入院患者さんが治療を受けられる場として療養環境を整備し職員一丸となり地域住民の方々が安心して城東区で生活できるための施設づくりを行ないます。

そして救急医療を柱とし、大阪府の地域医療構想にある回復期リハビリテーション病棟の充実並びに5疾病5事業の1つである、がん医療に対応する緩和ケア病棟を設置することで、幅広い患者さんの受入対応が可能な病院となります。また、近隣に所在する城東区役所・城東消防署・城東警察と連携を取り、今後予測される災害に対し強い施設作りを行うことで、更に地域社会へ貢献できるように計画しております。

救急医療

24時間365日の
整形外科・内科
救急体制



完成予想パース：国道1号線南側より見る

計画提案書 (①施設計画の全体像)

[※整理用で、何も書かなくても大丈夫。]

A. 施設の規模

種別	病院 (単一用途)
病床数	254 床
建築面積	1,796.52 m ² (543 坪)
建蔽率	57.04%
延べ床面積	11,785.86 m ² (3,565 坪)
容積対象床面積	11,546.62 m ² (3,492 坪)
容積率	366.56%

<主要室>

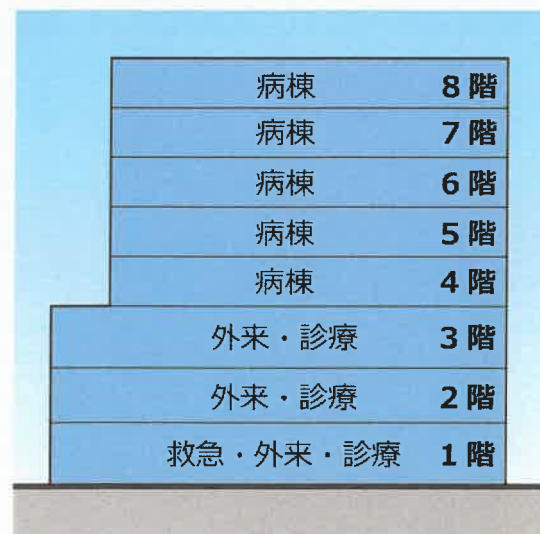
- ・陰圧室
- ・内視鏡室
- ・生理検査室
- ・CT 室
- ・一般撮影室
- ・透析室
- ・手術室
- ・リハビリテーション室
- ・MRI 室
- ・X-TV 室
- ・化学療法室

B. 施設用途の割合

病院の単一用途で全て病院となります。

<標榜科目>

内科、呼吸器腫瘍内科、循環器内科
 消化器内科、内分泌・糖尿病内科
 腎臓内科 (透析)、緩和ケア内科
 外科、整形外科、脳神経外科
 リハビリテーション科、皮膚科
 放射線科、リウマチ科、麻酔科



<階構成>



C. 想定利用者

現病院の実績に基づき、以下の利用者数を想定しております。

延べ外来患者数	-----	60,000 人 / 年
延べ入院患者数	-----	80,000 人 / 年
救急自動車受入数	-----	3,500 台 / 年
手術件数	-----	1,000 件 / 年
内視鏡件数	-----	2,000 件 / 年
健診者数	-----	3,000 人 / 年
人間ドック受診者数	-----	1,000 人 / 年



D. 施設運営・管理形態

地域医療を担う病院として社会医療法人による年中無休の医療提供を行います。

<運営時間>

24 時間 365 日

<診療時間>

平日	午前	9:00 ~ 12:30
	午後	14:00 ~ 17:00
土曜	午前	9:00 ~ 12:30

休診 土曜日午後・日曜日・祝日
 年末年始 12月30日～1月3日
 ※急患及び救急車は随時受け入れます。

<セキュリティ>

当社会医療法人職員が 24 時間常駐し、セキュリティ管理を行います。

<保守>

当社会医療法人が建物の保全、維持管理等を行います。



 . . . 患者用エレベータ
 . . . サービス用エレベータ



計画提案書 (①施設計画の全体像)

(※印刷用です。何もしないでください。)

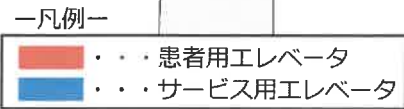


- ー凡例ー
- 病室
 - 患者用エレベータ
 - サービス用エレベータ

6・7階平面図



8階平面図



計画提案書 (②ベースとなる機能の概要)

E. 施設の規模 (Aと同様)

種別	病院 (単一用途)
病床数	254 床
建築面積	1,796.52 m ² (543 坪)
建蔽率	57.04%
延べ床面積	11,785.86 m ² (3,565 坪)
容積対象床面積	11,546.62 m ² (3,492 坪)
容積率	366.56%

<主要室>

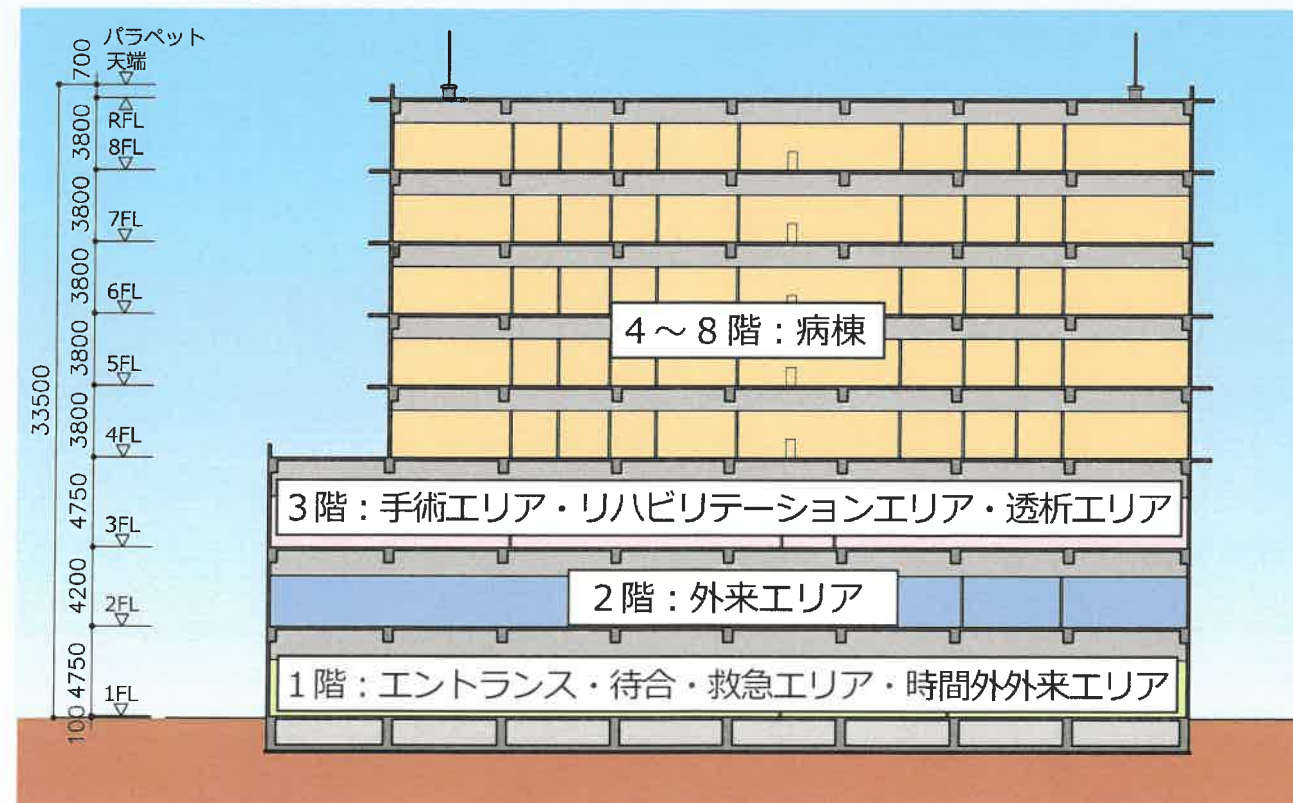
- ・陰圧室
- ・内視鏡室
- ・生理検査室
- ・CT 室
- ・一般撮影室
- ・透析室
- ・手術室
- ・リハビリテーション室
- ・MRI 室
- ・X-TV 室
- ・化学療法室



病室のイメージ



リハビリテーション室のイメージ



断面図

F. 施設の用途

1 階

メインエントランス、待合、検査エリアのほか、専用のエントランスを設けた救急、時間外外来を設けます。

2 階

外来診察室を設けます。

3 階

手術室、リハビリテーション室、透析室を設けます。

4～8 階

病棟エリアとし、急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟他、地域のニーズに沿った病棟構成とします。

G. 想定利用者 (Cと同様)

延べ外来患者数	-----	60,000 人 / 年
延べ入院患者数	-----	80,000 人 / 年
救急自動車受入数	-----	3,500 台 / 年
手術件数	-----	1,000 件 / 年
内視鏡件数	-----	2,000 件 / 年
健診者数	-----	3,000 人 / 年
人間ドック受診者数	-----	1,000 人 / 年

・人生100年時代と言われ高齢者の肺炎や外傷性骨折が増加しており地域包括ケアシステムの中で救急車受入れ医療機関の需要は高まっています。

・当病院は今回の建替計画により更に救急車の積極的な受入れを行います。

H. 施設等の運営・利用形態 (Dと同様)

<運営時間>

24 時間 365 日

<診療時間>

平日 午前 9:00 ~ 12:30

午後 14:00 ~ 17:00

土曜 午前 9:00 ~ 12:30

休診 土曜日午後・日曜日・祝日

年末年始 12月30日～1月3日

※急患及び救急車は随時受け入れます。

<セキュリティ>

当社会医療法人職員が24時間常駐し、セキュリティ管理を行います。

<保守>

当社会医療法人が建物の保全、維持管理等を行います。

年度別・救急車受入件数推移 (件)



年度別・手術件数推移 (件)



手術室のイメージ

インフラ途絶時の対応

1. 停電

- ・24時間バックアップ（E L V 2 台、救急、手術室他の主要機能）可能な自家発電機とオイルタンク（さらに燃料継ぎ足しにより72時間までの連続運転可能）
- ・浸水に備え防災等の主要な電源盤を2階に配置

2. 上水道寸断

- ・節水利用で3日間自立できる受水槽
- ・受水槽貯留水の塩素滅菌による水質確保

3. 下水道寸断

- ・節水利用で3日間自立できる容量の緊急排水槽（手動操作による）

4. 情報通信の途絶

- ・複数の通信回路の利用による信頼性の確保（一般電話に加えて衛星電話等の手段の検討）

5. 空調

- ・停電等による空調換気停止時にも自然換気可能な窓

6. 医療ガス

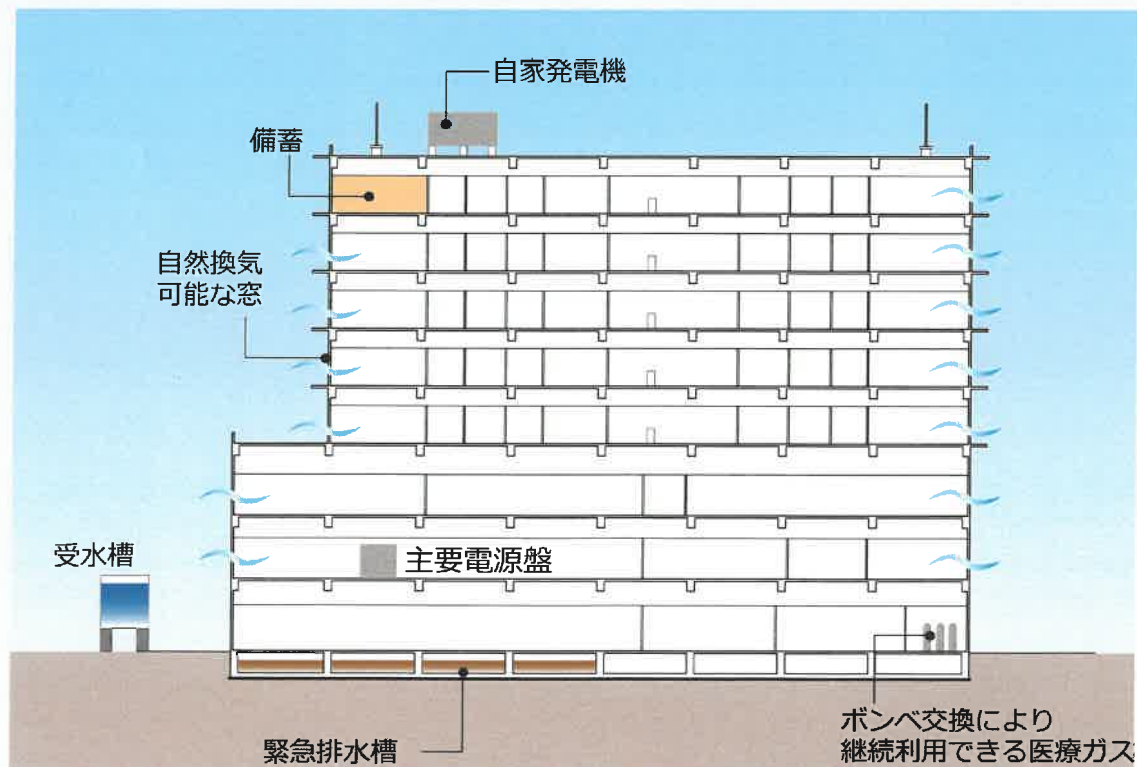
- ・医療ガスの継続使用が可能な計画（ポンベ入替により接続可能）

7. 備蓄

- ・医療機能維持のための必要品目の備蓄（倉庫の一部により備蓄を行う）

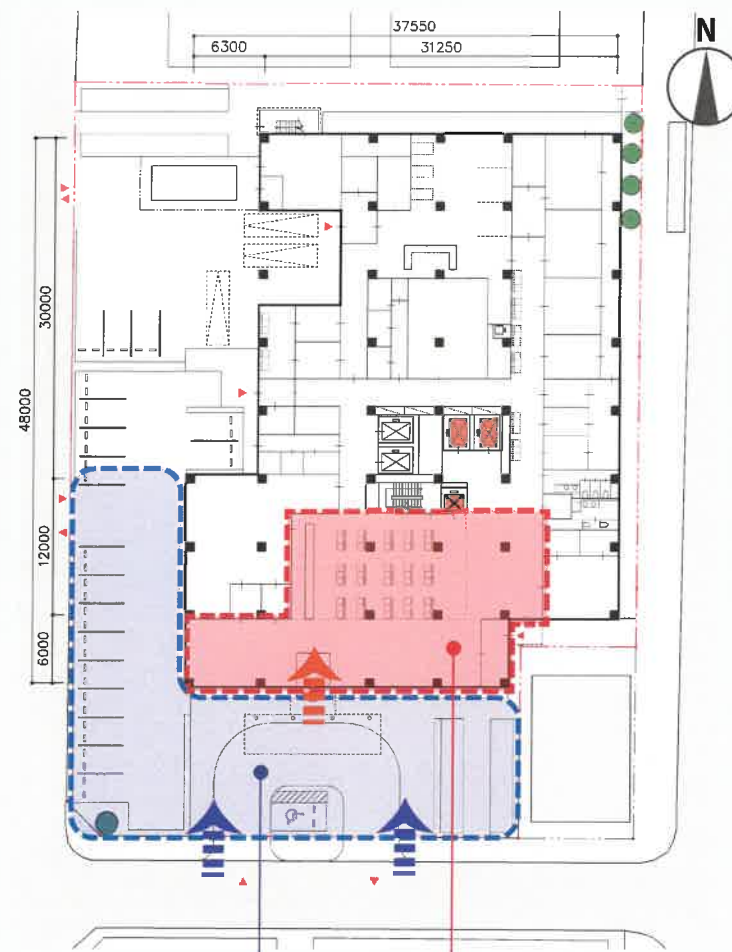
8. 災害時の医療受入体制

- ・トリアージスペースの整備（災害規模・状況に応じた受入体制の検討）



段階的なトリアージスペースの整備

- ・多くの患者を混乱なく収容するため、建物の内外に災害の規模に応じた段階的なトリアージスペースを確保します。
- ・1次トリアージスペースとなる駐車場は、救急活動に十分なスペースを確保します。
- ・2次トリアージスペースとなるエントランスホールや待合は医療ガス・非常電源を設置します。



1次トリアージスペース

駐車場・車寄せのスペースを広く使い、傷病者のふるい分けを行います。

2次トリアージスペース

エントランスエリアで重症度の判定と簡単な処置を行います。

トリアージスペースイメージ

水害への備え

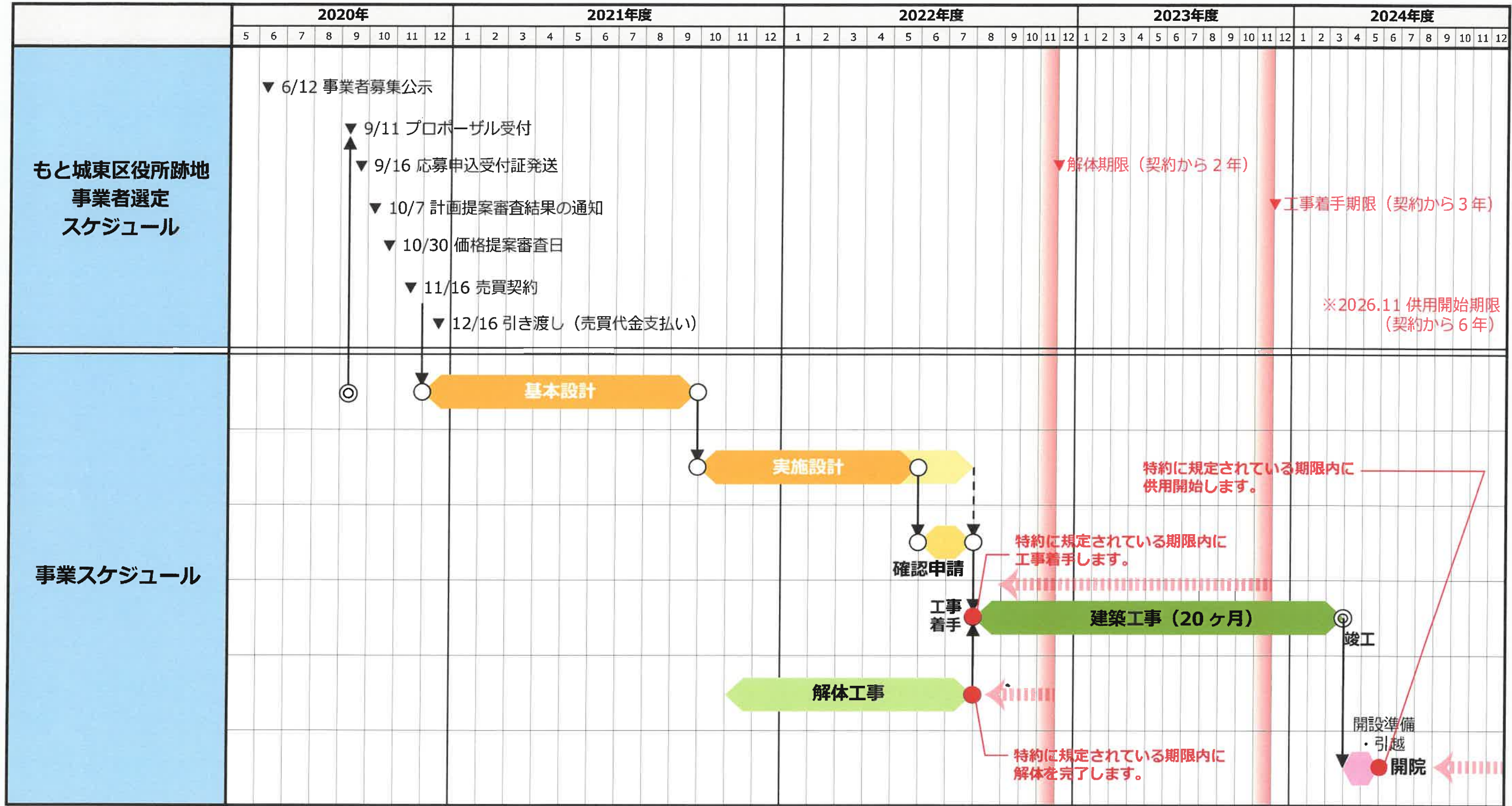
地域の水害時の備えとして機能するため、水害避難ビルの指定を目指します。

浸水被害想定より高い3階レベルに設けた広いリハビリテーションエリアにて水害時の避難受入が可能な計画とします。

建物が浸水時の機能を目指し、主要な各種盤や電源設備（電源盤、キュービクル等）は2階以上に配置するとともに、受水槽は基礎を嵩上げします。また建屋内倉庫の一部に災害用物資を備蓄します。



事業スケジュール



※諸官庁等の指導等により、スケジュール変更の可能性があります。

事業実現に向けた実施体制及び仕組み

事業実現に向けた実施方針

社会医療法人単独事業による、円滑かつ着実に事業を実施します。
 今回の事業では、法人の基幹事業である病院の建て替えを行います。
 また、病院の他にも附属クリニック、訪問看護ステーションをはじめとした多角的なサービスにより地域医療の充実に貢献するとともに、相互のスタッフ、運営面でのバックアップによる安定的な事業を実現します。

社会医療法人 法人内に理事長・法人本部長を中心とした建替え
 (新病院建設体制) のプロジェクトをつくり、事業を実現します。

理事長・本部長

事業全体の監督・管理をする。
 各部署の意見集約。
 最終的意思決定担当。
 事務系の意見集約も担当する。

院長

医局の意見集約、医療面の判断と意思決定。

看護部長

看護部の意見集約。患者さんの立場での病院の在り方を
 検討し事業に組入れる。

経営戦略室長

新病院の総合的な在り方を検討。他病院の新築・移転を
 2度経験している。その知見を活かす。

地域連携部長

救急医療、他病院との連携、開業医との連携、
 介護施設との連携を担当。診療技術系の職員の意見集約。



今回事業における建て替えを計画しています。

※土地建物売買契約及び所有権移転登記後において、持ち分に応じた共有物分割は行いません。
 ※SPC設立、承継は予定しておりません。

経営リスクマネジメントに基づく取組み

- 当法人は厚生労働省から社会医療法人として救急医療で社会に貢献するよう認められています。
- 当法人は70年間大阪市内で医療を続けています。
- 事業運営リスク管理のため、個人情報保護・法令遵守・接遇向上についての研修や委員会での管理を行っています。
- 事故リスクについては、医療事故の保険に加入しています。
- 法人の経営は、「運営会議」「経営会議」、「社員総会」、「理事会」と内容により検討・意思決定を行い適切な経営を行っています。

